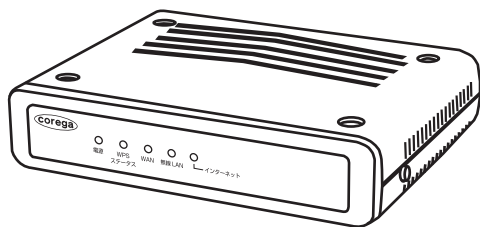




CG-WLR300NX お使用の手引き



Contents

お使いになる前に
お読みください

1

複数のネットワーク
機器を接続する

2

本商品を使いこなす

3

トラブル解決と
Q&A



Q&A



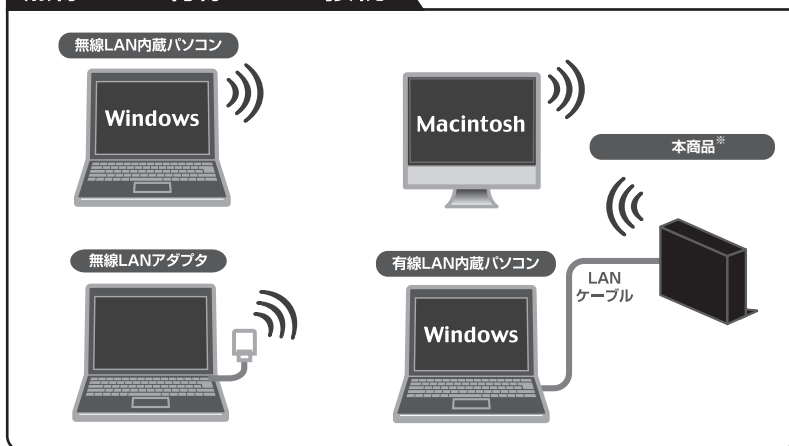
「らくらく導入ガイド」 でできること

まずは

無線LAN、有線LANで接続したい!

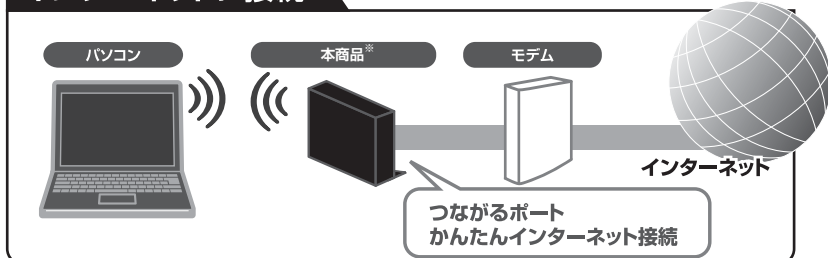
インターネットで接続したい!

無線LAN/有線LANで接続



※本体の色や形状は商品によって異なる場合があります。

インターネットに接続



※本体の色や形状は商品によって異なる場合があります。

無線&インターネットへの 接続完了!!

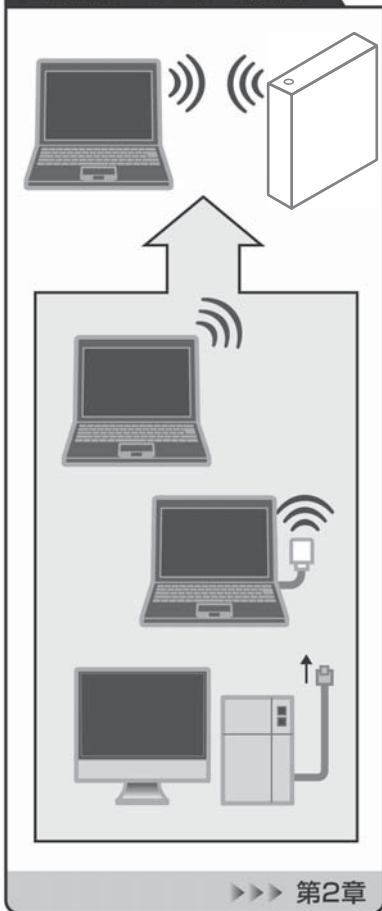


「お使いの手引き(本書)」 でできること

もっと

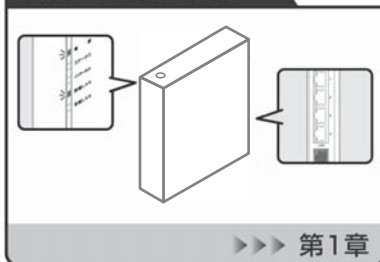
本商品でできることを知りたい！
パソコンやネットワーク機器をつながたい！

2台目のパソコンを接続



※本体の色や形状は商品によって異なる場合があります。

各部の名称と動き



機能



Q & A



安全にお使いいただくためにお読みください

ここでは、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明



この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例)



「分解禁止」



この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例)



「電源プラグをコンセントから抜く」



警告



禁止

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。



強制指示

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは AC アダプタをほかの機器に使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

⚠ 警告



禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、引っ張ったりしないでください。
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、感電、火災の原因となります。
電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは、電源ケーブルを引っ張って抜かないでください。



禁止

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災の原因となります。



アース線またはアース端子を接続してください。
本商品または電源ケーブルにアース線またはアース端子が付いている場合は、アース線またはアース端子を接続してください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。



分解禁止

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。



プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。



プラグを抜く

本商品（AC アダプタを含む）から異常音がしたり、ケースが熱くなっている状態のまま使用すると、感電、火災の原因となることがあります。すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。



プラグを抜く

本商品（AC アダプタを含む）の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。



濡手禁止

濡れた手で本商品（AC アダプタを含む）を扱わないでください。
感電の原因となります。

⚠ 警告



雷のときは本商品（AC アダプタを含む）や接続されているケーブル類に触らないでください。

感電の原因となります。



小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。

感電やけがを引き起こす原因となる場合があります。



梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。

窒息する原因となります。



不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、本商品の使用を終了してください。

そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。



本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意



本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。

- ・多段積み
- ・通風孔をふさぐ

（例：ジュータン、布団、テーブルクロス、毛布などでふさぐ）

- ・前後左右、上部に十分なスペースがない

（例：収納棚や本棚などの場所に押し込む）

内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。

また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

⚠ 注意



禁止

本商品（AC アダプタを含む）を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 暖房器具やボイラーの近く、火気のそばなど温度が上がる、高温になる場所（例：発熱する装置のそばなど）



浴室禁止

- ・ 急激な温度変化のある場所（クーラーや暖房機のそばなど、結露するような場所）



水濡禁止

- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
 - ・ 小さな金属類がある周辺
 - ・ 風呂場やシャワー室、加湿器のそばなど水のかかる場所や湿気が多い場所
 - ・ 水などの液体がかかる場所
 - ・ 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 高温、多湿、風通しの悪い場所
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ ほこりや粉塵の多い場所
 - ・ 強風のあたる場所
 - ・ ジュータンなどを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
 - ・ 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスの発生する場所
 - ・ 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
- 感電、火災、故障の原因となります。
(仕様に定められた環境条件下でご使用ください)



強制指示

お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。



禁止

本商品を移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

感電、火災の原因となります。



強制指示

取扱説明書に従って、正しく設置してください。

不適切な設置により、放熱が妨げられると、発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意



長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
火災の原因となります。



本商品（AC アダプタを含む）に強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。



静電気が発生しやすい場所に設置しないでください。
感電、故障の原因となります。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず P.4 「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

- ・ 心臓ペースメーカーの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・ 医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・ 電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯(2.4GHz 帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、コレガサポートセンタにご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへお問い合わせください。

本商品の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4DS/OF4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■■■ : 全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLR300NX」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。



本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/>

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	------------------------------------	---	-----------------------

■表記について

本商品	CG-WLR300NX のことです。
「 」-「 」-「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例： <input type="button" value="OK"/> → [OK]
Windows 8	Microsoft® Windows® 8 および Microsoft® Windows® 8 Pro
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Starter、 Microsoft® Windows® 7 Home Premium、 Microsoft® Windows® 7 Professional および Microsoft® Windows® 7 Ultimate
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows 8/7」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○らくらく導入ガイド

はじめて本商品を接続するときにお読みいただくマニュアルです。

○お使いの手引き（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、使用方法について説明しています。また、**P.77**「第4章 トラブル解決とQ&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

○ニンテンドー DS・Wii を接続する

ニンテンドー DS と Wii の詳しい接続方法について説明しています。

○詳細設定ガイド（コレガホームページからダウンロードできる PDF マニュアル）

本商品の Web 設定画面の詳細説明や、詳しい設定方法、使用方法について説明しています。「詳細設定ガイド」の入手方法は、**P.110**「4.3.6 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」をご覧ください。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などについて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章 お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

■第 2 章 複数のネットワーク機器を接続する

この章では、お使いのネットワーク機器が複数ある場合の説明をしています。

■第 3 章 本商品を使いこなす

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

■第 4 章 トラブル解決と Q&A

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

付属品一覧

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> CG-WLR300NX 本体 | <input type="checkbox"/> AC アダプタ (2 極 1.5m) |
| <input type="checkbox"/> らくらく導入ガイド | <input type="checkbox"/> ゴム足 |
| <input type="checkbox"/> 製品保証書 (1 年) | |

目次

安全にお使いいただくためにお読みください	4
無線製品をご利用の際のご注意	9
はじめに	12
本書の読み方	12
マニュアルの種類と使い方	13
本書の構成	14
付属品一覧	15
目次	17
第 1 章	
お使いになる前にお読みください	19
1.1 本商品の特長	20
1.2 各部の名称と機能	21
第 2 章	
複数のネットワーク機器を接続する	26
2.1 本商品に複数のネットワーク機器を接続する	27
2.2 ネットワーク機器を LAN ケーブル（有線 LAN）で接続する	29
2.3 Windows 8 で無線 LAN 接続する	30
2.4 Windows 7 で無線 LAN 接続する	35
2.5 Windows Vista で無線 LAN 接続する	41
2.6 Windows XP で無線 LAN 接続する	45
2.6.1 接続の前に	45
2.6.2 接続の手順	47
2.7 Macintosh を内蔵無線 LAN（AirMac）で接続する	51
2.7.1 接続の前に	51
2.7.2 接続の手順	52
2.8 コレガ製無線 LAN アダプタで接続する	54
2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する	56
2.10 ゲーム機を無線 LAN で接続する	57
2.10.1 WPA2-PSK で接続する	59
2.10.2 マルチ AP（セカンド SSID）に接続する	60
第 3 章	
本商品を使いこなす	61
3.1 設定画面を表示する	62

3.2	設定する	64
3.3	ダブルチャンネルを設定する	66
3.4	LED 消灯モードを設定する	68
3.5	無線スケジュール停止機能を使う	69
3.5.1	無線スケジュール停止機能とは？	69
3.5.2	スケジュールを登録する	70
3.5.3	スケジュールを選択する	72
3.5.4	無線スケジュール停止機能を一時的に無効にする	73
3.5.5	無線スケジュール停止機能を削除する	73
3.6	マルチ AP 機能を使う	74
3.6.1	WEP のぜい弱性とマルチ AP 機能	74
3.6.2	マルチ AP 機能の利点	75
3.6.3	マルチ AP 機能について	76
第 4 章		
トラブル解決と Q&A		77
4.1	トラブル対処の方法	78
4.2	本商品のトラブル	79
4.2.1	電源が入らない	79
4.2.2	LED が点灯・点滅しない	79
4.2.3	設定画面が表示されない	79
4.2.4	無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない	105
4.3	よくあるご質問	106
4.3.1	無線 LAN セキュリティを設定したい	106
4.3.2	無線 LAN 内蔵パソコンを接続したい	107
4.3.3	複数台のパソコンを接続したい	107
4.3.4	本商品を再起動したい	107
4.3.5	本商品を工場出荷時の状態に戻したい	109
4.3.6	もっと詳しい取扱説明書を入手したい	110
4.3.7	つながるポートで回線判別中の LED の挙動を知りたい	111
付録		112
	仕様一覧	113
	保証と修理について	115
	おことわり	116

第 1 章

お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1 本商品の特長	20
1.2 各部の名称と機能	21

1.1 本商品の特長

本商品は 11n 規格と既に広く普及した g/b 規格を搭載した高速無線 LAN ルータです。

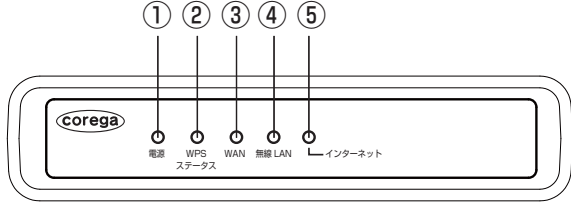
無線 LAN は、11n 利用時はダブルチャンネル機能により理論値 300Mbps の通信に対応し、送信 2 本 × 受信 2 本の内蔵 W パワーアンテナでデータ分割・送受信を行います。そのため、従来 g/b 規格に比べて電波の劣化が起きにくく、壁や障害物などの影響により乱反射した電波も復号して有効活用します。また、すでに普及しており対応機器の多い従来規格 g/b にも対応しているため、お持ちの端末を買い換えること無く、手軽に快適な環境を整えられます。

また、お使いの回線を自動判別して自動的に設定する「つながるポート」、ゲーム・スマホ・タブレット向けマニュアル、及び Wi-Fi 認証（他社製品との相互接続性などに関する認証）取得により、ゲーム・スマホ・タブレットをお持ちの方にもオススメです。

1.2 各部の名称と機能

各部の名称と働きを説明します。

■前面



①電源 LED（緑）

電源の状態を表示します。

状態	本商品の状態
点灯	本商品の電源が入っています。
消灯	本商品の電源が入っていません。

② WPS/ステータス LED（緑）

インターネットへの接続状態を表示します。

状態	本商品の状態
点滅	次のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ・つながるポートの設定変更している。 ・WPS の設定をしている。 ・再起動をしている。 ・工場出荷の状態に戻している。
消灯	点滅の条件以外の状態か、LED 消灯モードが有効になっています。

③ WAN LED（緑）

インターネットへの接続状態を表示します。

状態	本商品の状態
点灯	リンクが確立している状態です。
点滅	通信中です。
消灯	次のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ・リンクが確立していない。 ・LED 消灯モードが有効になっている。

④無線 LAN LED（緑）

インターネットへの接続状態を表示します。

状態	本商品の状態
点灯	無線 LAN 通信ができる状態です。
点滅	無線 LAN 通信中です。
消灯	次のいずれかの状態です。 ・無線 LAN 状態が無効になっている。 ・LED 消灯モードが有効になっている

⑤インターネット LED（緑）

インターネットへの接続状態を表示します。

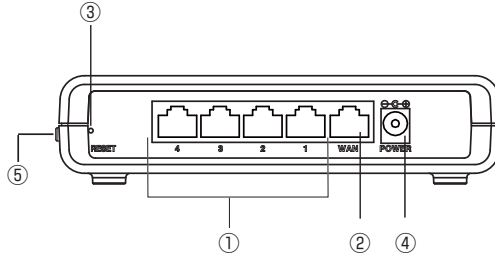
状態	本商品の状態
点灯	インターネットに接続しています。
点滅	接続に失敗しています。
消灯	次のいずれかの状態です。 ・インターネットに接続していない。 ・ルータ機能が OFF(無効) になっている。 ・LED 消灯モードが有効になっている

つながるポートで回線判別中の LED の状態は、P.111 「4.3.7 つながるポートで回線判別中の LED の挙動を知りたい」をご覧ください。



LED 消灯モード有効時は全ての LED が消灯します。

■背面



① LAN ポート (黒)

パソコンやスイッチングハブを接続するためのポートです。

② つながるポート (WAN ポート) (黒)

モデムや光回線終端装置 (ONU) など、既存のネットワークの上位回線 (インターネット) に接続するためのポートです。



・お使いのモデムによっては、前回接続していた情報を記憶している場合があります。あらかじめモデムの AC アダプタを 15 分以上抜いておいてください。

③ RESET (初期化) ボタン

本商品の設定内容を工場出荷時の状態 (初期値) に戻します。

🔧 P.109 「4.3.5 本商品を工場出荷時の状態に戻したい」

④ DC ジャック

付属の専用 AC アダプタを接続するためのコネクタです。

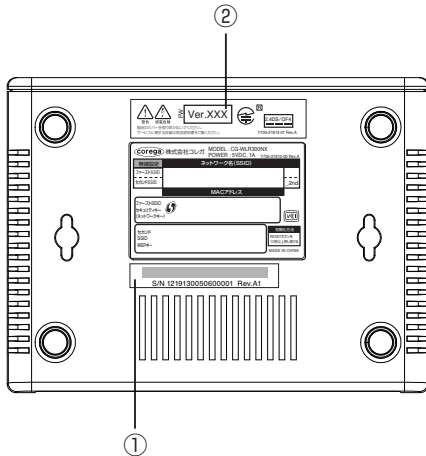


・本商品には必ず付属の専用 AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
・本商品に付属の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

⑤ WPS ボタン

WPS (Wi-Fi Protected Setup) を設定するためのボタンです。

■底面



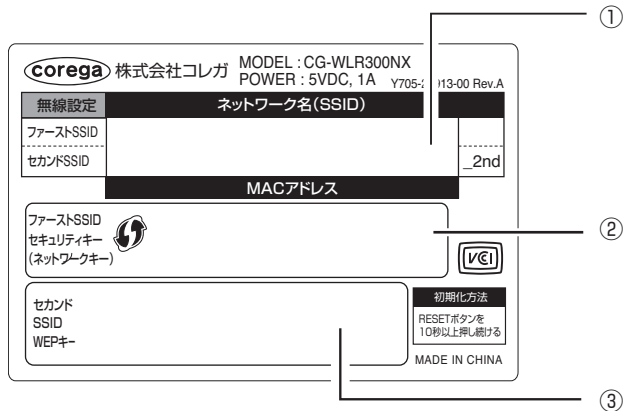
① シリアル番号 / リビジョン

シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンターへのお問い合わせのときに必要になります。

② ファームウェアバージョン

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

■製品ラベル



①ネットワーク名 (SSID) / MAC アドレス

本商品のネットワーク名 (SSID) と MAC アドレスが記載されています。次のように区別されます。

MAC アドレス	002687XXXXXX
ファースト SSID	002687XXXXXX
セカンド SSID	002687XXXXXX_2nd

※「XXXXXX」の部分は、お使いの商品によって異なります。

②ファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー)

ファースト SSID に設定されている無線 LAN セキュリティのセキュリティキー (初期値) が記載されています。



ファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー) は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) の PIN コード (初期値) を兼ねています。

③セカンド SSID WEP キー

セカンド SSID に設定されている無線 LAN セキュリティの WEP (初期値) が記載されています。

第 2 章

複数のネットワーク機器を接続する

この章では、お使いのネットワーク機器が複数ある場合の説明をしています。

2.1 本商品に複数のネットワーク機器を接続する	27
2.2 ネットワーク機器を LAN ケーブル (有線 LAN) で接続する	29
2.3 Windows 8 で無線 LAN 接続する	30
2.4 Windows 7 で無線 LAN 接続する	35
2.5 Windows Vista で無線 LAN 接続する	41
2.6 Windows XP で無線 LAN 接続する	45
2.7 Macintosh を内蔵無線 LAN (AirMac) で接続する	51
2.8 コレガ製無線 LAN アダプタで接続する	54
2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する	56
2.10 ゲーム機を無線 LAN で接続する	57

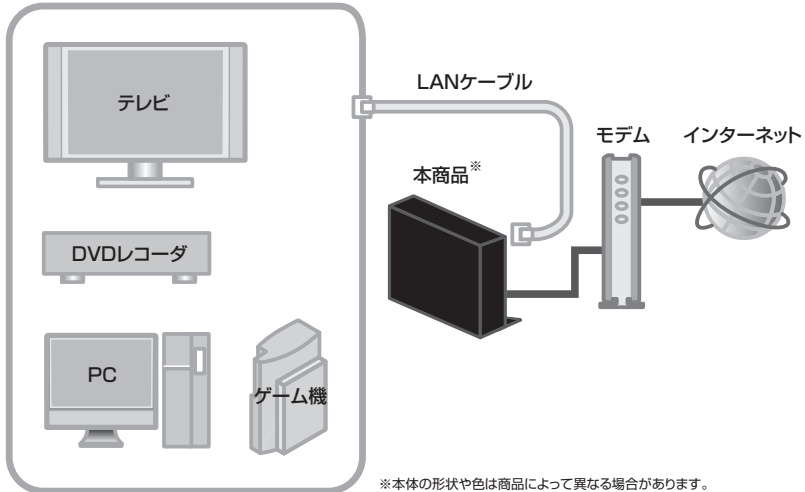
2.1 本商品に複数のネットワーク機器を接続する

お使いのネットワーク機器（ネットワーク対応のパソコン・デジタル家電・ゲーム機など）が複数台ある場合は、機器に合わせて接続します。



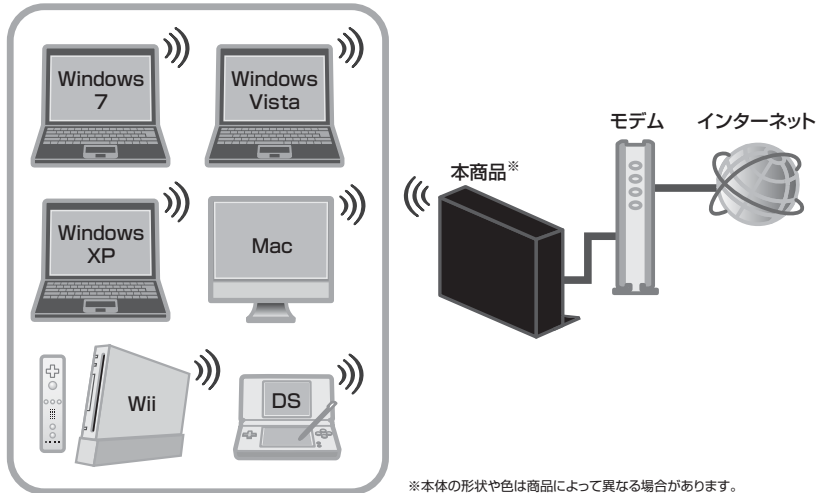
- ・はじめに付属の「らくらく導入ガイド」をご覧になり、1台目の設定用パソコンで本商品のインターネット接続を設定してください。
- ・2台目以降のネットワーク機器（パソコン、デジタル家電、ゲーム機など）を無線LANで接続するには、本章の手順をご覧ください。2台目以降では、インターネット接続を設定する必要はありません。

■ネットワーク機器をLANケーブル（有線LAN）で接続する場合



📖 P.29 「2.2 ネットワーク機器をLANケーブル（有線LAN）で接続する」

■ネットワーク機器を無線 LAN で接続する場合



- 👉 P.30 「2.3 Windows 8で無線 LAN 接続する」
- 👉 P.35 「2.4 Windows 7で無線 LAN 接続する」
- 👉 P.41 「2.5 Windows Vistaで無線 LAN 接続する」
- 👉 P.45 「2.6 Windows XPで無線 LAN 接続する」
- 👉 P.51 「2.7 Macintoshを内蔵無線 LAN (AirMac) で接続する」
- 👉 P.54 「2.8 コレガ製無線 LAN アダプタで接続する」
- 👉 P.56 「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」
- 👉 P.57 「2.10 ゲーム機を無線 LAN で接続する」

2.3 Windows 8で無線LAN接続する

次の手順で接続します。



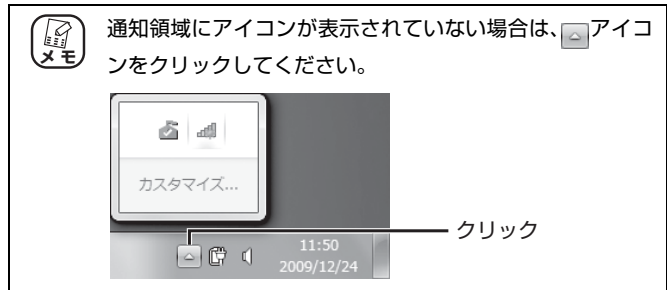
- ・パソコンに搭載されている無線LAN接続ソフトを使用する場合は、P.56「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線LANで接続する」の情報をもとに接続してください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・パソコンに無線LAN機能のスイッチが搭載されている場合は、オンにしてください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・IEEE802.11n/g/bに接続するには、お使いのネットワーク機器がその周波数帯に対応している必要があります。お使いのネットワーク機器が対応していない周波数帯のネットワーク名（SSID）は表示されません。

- 1 【スタート画面の場合】【デスクトップ】をクリックし、デスクトップモードを表示します。



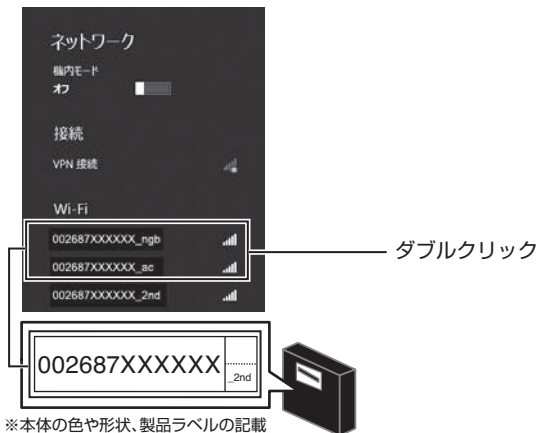
- 2 画面右下の通知領域の  アイコンをクリックします。





3 一覧から本商品の「ネットワーク名 (SSID)」をダブルクリックします。

本商品の「ネットワーク名 (SSID)」は、P.25 「■ 製品ラベル」を確認してください。



※本体の色や形状、製品ラベルの記載内容は商品によって異なる場合があります。

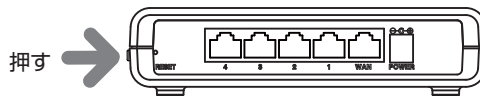
4 次の画面が表示されます。



※ 画面は IEEE802.11n/g/b (2.4GHz 帯) に接続する例です。

5 【WPS ボタンを使う】

本商品の WPS ボタンを 3 秒以上押し続けて離します。



【セキュリティキーを入力する】

「ファースト SSID セキュリティキー（ネットワークキー）」を入力し、[次へ] をクリックします。

これで接続は完了です。

接続できなかった場合は、**P.105**「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をご確認ください。

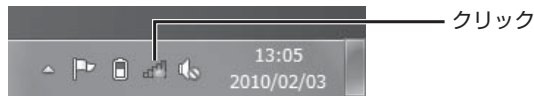
2.4 Windows 7で無線LAN接続する


次の手順で接続します。



- ・パソコンに搭載されている無線LAN接続ソフトを使用する場合は、P.56「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線LANで接続する」の情報をもとに接続してください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・パソコンに無線LAN機能のスイッチが搭載されている場合は、オンにしてください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・IEEE802.11n/g/bに接続するには、お使いのネットワーク機器がその周波数帯に対応している必要があります。お使いのネットワーク機器が対応していない周波数帯のネットワーク名（SSID）は表示されません。

1 画面右下の通知領域の アイコンをクリックします。



通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 アイコンをクリックしてください。

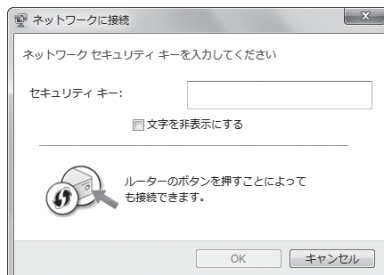


2 一覧から本商品の「ネットワーク名 (SSID)」をダブルクリックします。



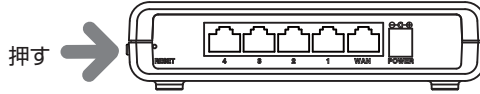
※本体の色や形状、製品ラベルの記載内容は商品によって異なる場合があります。

3 次の画面が表示されます。



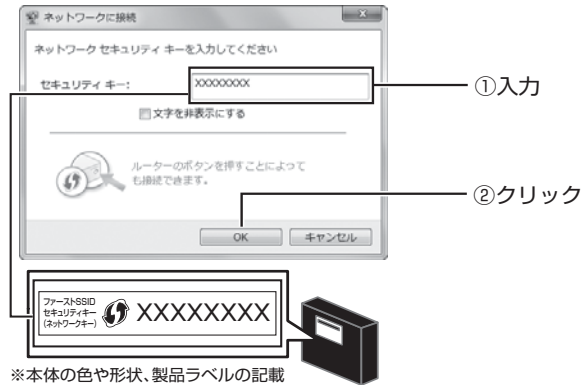
4 【WPS ボタンを使う】

本商品の WPS ボタンを 2 秒以上押し続けて離します。



【セキュリティキーを入力する】

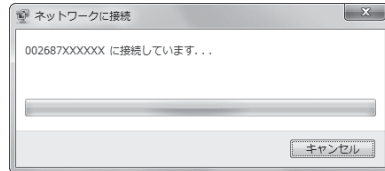
「ファースト SSID セキュリティキー（ネットワークキー）」を入力し、[OK] をクリックします。



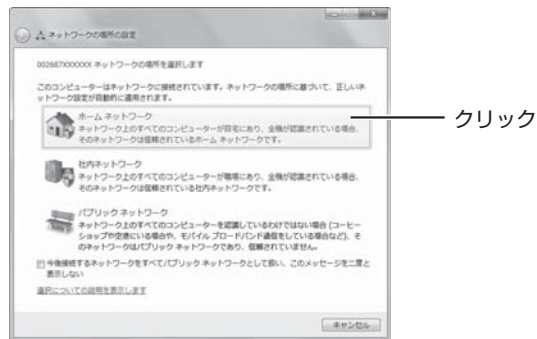
※本体の色や形状、製品ラベルの記載内容は商品によって異なる場合があります。

5 接続中の画面が表示されます。

手順6（または手順7のメモ）の画面が表示されるまでお待ちください。

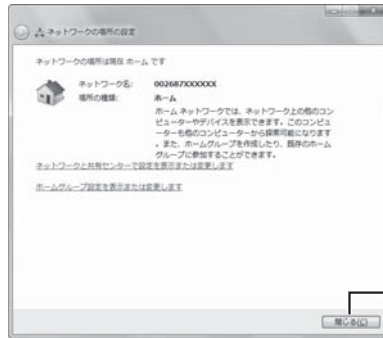


6 「ネットワークの場所の設定」が表示されたら、「ホームネットワーク」をクリックします。



「ネットワークの場所の設定」について詳しくは、「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

7 「閉じる」をクリックします。

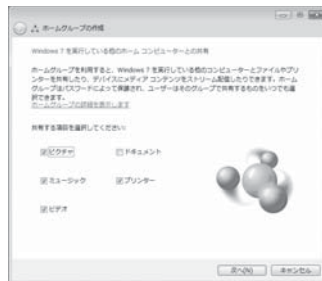


クリック

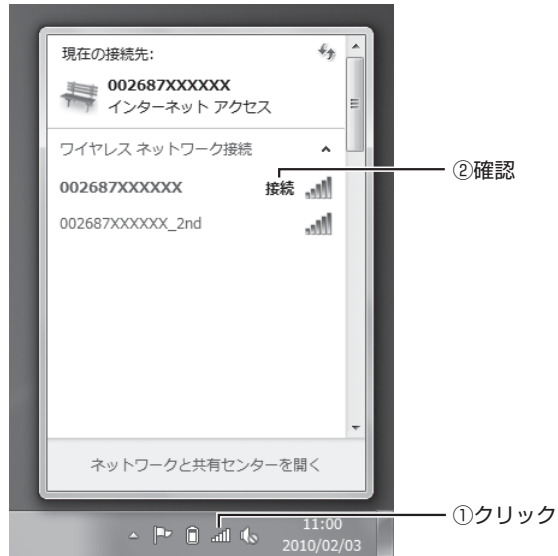


お使いの環境によって、「ホームグループの作成」または「ホームグループへの参加」が表示されます。「ホームグループの詳細を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

※「ホームグループの作成」および「ホームグループへの参加」については、弊社サポート対象外となります。



- 8** 画面右下の通知領域の  アイコンをクリックし、「接続」になっていることを確認します。



これで接続は完了です。

接続できなかった場合は、**P.105**「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をご確認ください。

2.5 Windows Vista で無線 LAN 接続する

次の手順で接続します。



- ・ パソコンに搭載されている無線 LAN 接続ソフトを使用する場合は、P.56 「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」の情報をもとに接続してください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・ パソコンに無線 LAN 機能のスイッチが搭載されている場合は、オンにしてください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・ IEEE802.11 n/g/b に接続するには、お使いのネットワーク機器がその周波数帯に対応している必要があります。お使いのネットワーク機器が対応していない周波数帯のネットワーク名 (SSID) は表示されません。

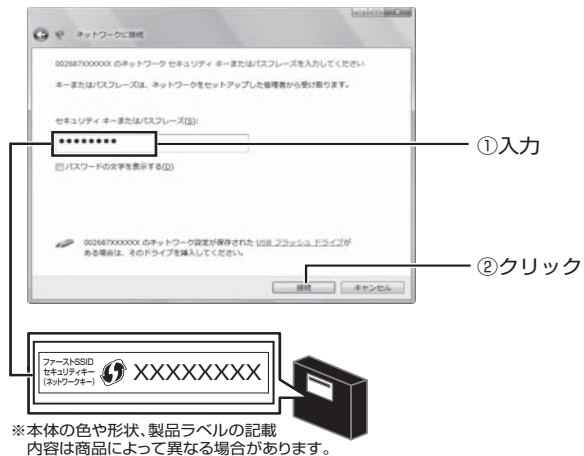
1 [スタート] - 「接続先」の順にクリックします。



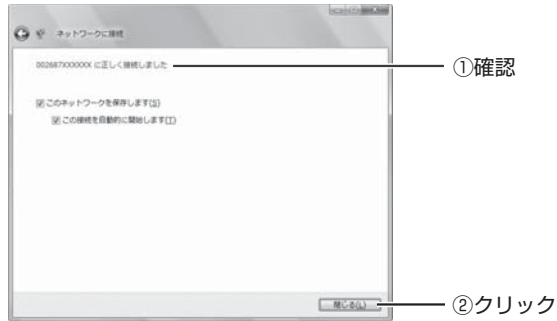
- 2** 一覧から本商品の「ネットワーク名 (SSID)」を選択し、[接続] をクリックします。



- 3** 「ファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー)」を入力し、[接続] をクリックします。

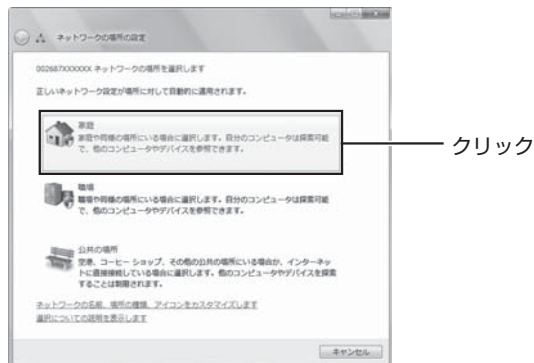


4 接続を確認し、[閉じる] をクリックします。



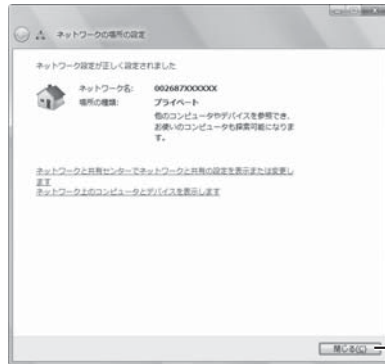
「このネットワークを保存します」および「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けると、パソコンを起動したときに自動的にネットワーク接続します。

5 「ネットワーク場所の設定」が表示されたら、「家庭」をクリックします。



6 「ユーザーアカウント制御」画面で、「続行」をクリックします。

7 設定を確認し、[閉じる] をクリックします。



これで接続は完了です。

接続できなかった場合は、**P.105**「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をご確認ください。

2.6 Windows XP で無線 LAN 接続する

次の手順で接続します。



- ・パソコンに搭載されている無線 LAN 接続ソフトを使用する場合は、P.56「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」の情報をもとに接続してください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・パソコンに無線 LAN 機能のスイッチが搭載されている場合は、オンにしてください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- ・IEEE802.11n/g/b に接続するには、お使いのネットワーク機器がその周波数帯に対応している必要があります。お使いのネットワーク機器が対応していない周波数帯のネットワーク名 (SSID) は表示されません。

2.6.1 接続の前に

次の手順で Windows XP の「ワイヤレスネットワーク」が有効になっていることを確認します。

1 [スタート] - 「コントロールパネル」の順にクリックします。



2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

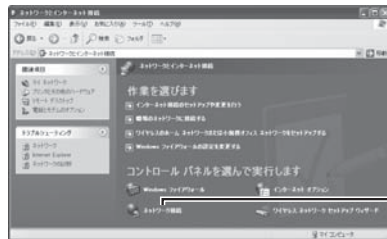


クリック



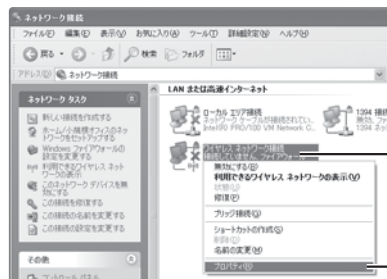
クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4 に進みます。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。



クリック

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



①右クリック

②クリック

5 次のように設定します。



パソコンに搭載されている無線LAN接続ソフトを使用している場合、②「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」の項目がないことがあります。そのときは、P.56 「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」の情報をもとに本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。



※ 画面は例です。

- ①ワイヤレスネットワークタブをクリックします。
- ②チェックが付いていることを確認します。
- ③使用しない項目を選択します。
- ④ [削除] をクリックします。
- ⑤ ③、④を繰り返します。
- ⑥ [OK] をクリックします。

2.6.2 接続の手順

引き続き、次の手順で本商品と接続します。

- 1** [スタート] - 「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

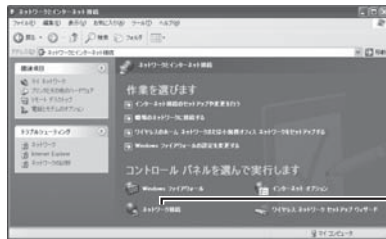


クリック



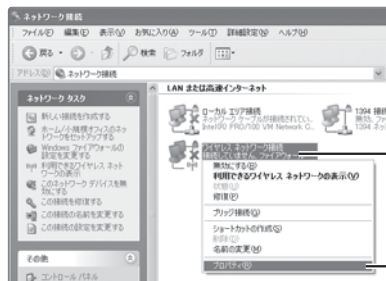
クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順4に進みます。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。



クリック

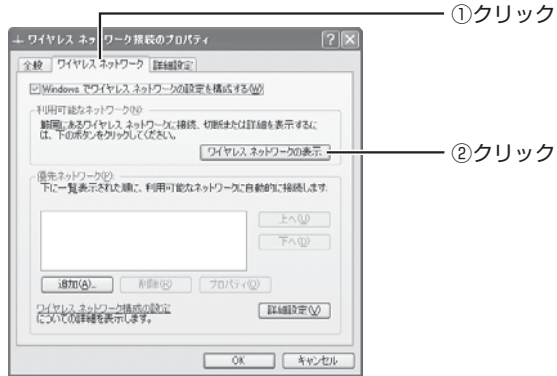
4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



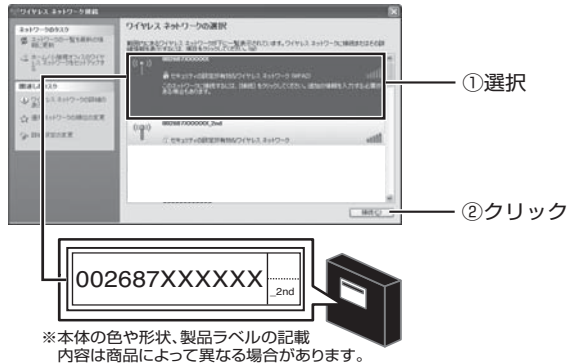
①右クリック

②クリック

5 ワイヤレスネットワークタブをクリックし、[ワイヤレスネットワークの表示] をクリックします。



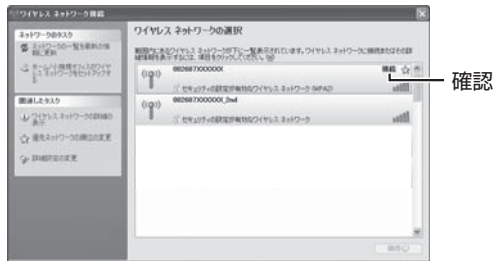
6 一覧から本商品の「ネットワーク名 (SSID)」を選択し、[接続] をクリックします。



7 「ファースト SSID セキュリティキー（ネットワークキー）」を入力し、[接続] をクリックします。



8 「接続」になっていることを確認します。



これで接続は完了です。

接続できなかった場合は、P.105「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をご確認ください。

2.7 Macintosh を内蔵無線 LAN(AirMac) で接続する

無線 LAN (AirMac) 内蔵の Macintosh をお使いの場合は、次の手順で接続します。



- ・画面は Mac OS X 10.6 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。
- ・IEEE802.11 n/g/b に接続するには、お使いのネットワーク機器がその周波数帯に対応している必要があります。お使いのネットワーク機器が対応していない周波数帯のネットワーク名 (SSID) は表示されません。

2.7.1 接続の前に

次の手順で AirMac を有効にします。

- 1 画面右上のタスクバーの  アイコンをクリックします。



- 2 「AirMac を入にする」をクリックします。



これで AirMac が有効になりました。

2.7.2 接続の手順

引き続き、次の手順で本商品と接続します。

- 1 画面右上のタスクバーの  アイコンをクリックします。



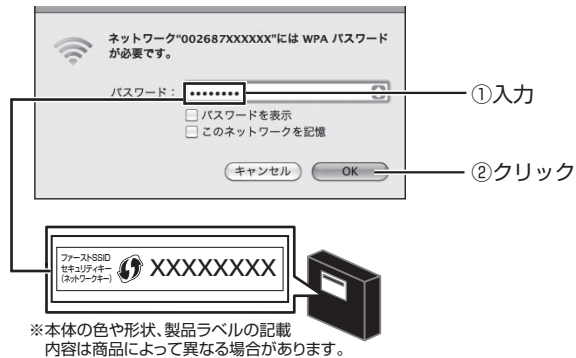
- 2 一覧から本商品の「ネットワーク名 (SSID)」をクリックします。



※本体の色や形状、製品ラベルの記載
内容は商品によって異なる場合があります。

3 「ファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー)」を入力し、[OK] をクリックします。

Mac OS X 10.4 の場合は、「ワイヤレスセキュリティ」で「WPA パーソナル」を選択し、「パスワード」にファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー) を入力して、[OK] をクリックします。



4 画面右上のタスクバーの アイコンをクリックし、手順2で選択したネットワーク名にチェックが付いていることを確認します。



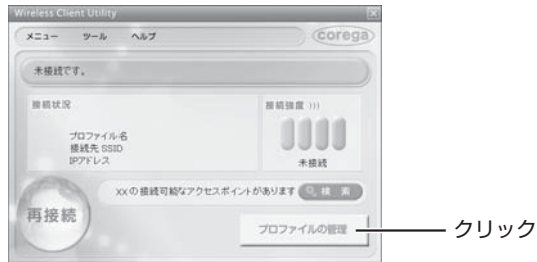
これで接続は完了です。

接続できなかった場合は、P.105 「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をご確認ください。

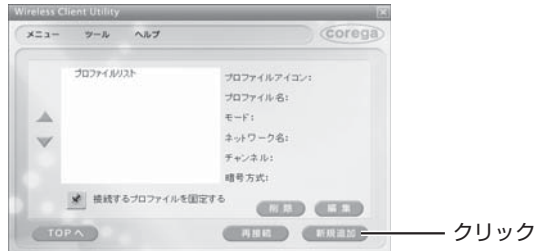
2.8 コレガ製無線 LAN アダプタで接続する

コレガ製無線 LAN アダプタで、本商品を検索して接続する手順を説明します。ここでは、CG-WLUSB300NS を例に説明します。詳しい手順や、そのほかの接続方法については、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。

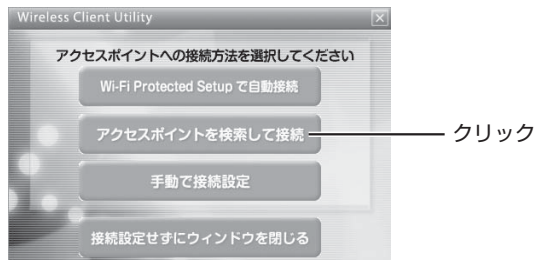
- 1 無線クライアントユーティリティを起動し、[プロファイルの管理] をクリックします。



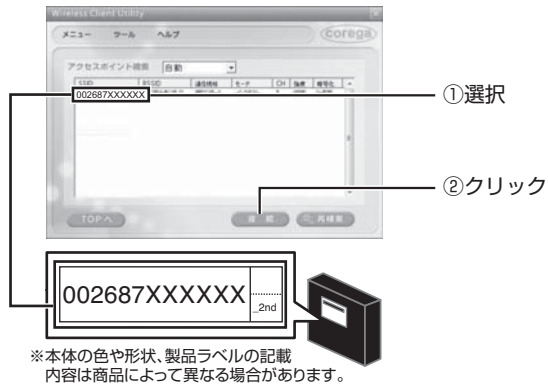
- 2 [新規追加] をクリックします。



- 3 [アクセスポイントを検索して接続] をクリックします。



4 一覧から本商品のネットワーク名 (SSID) を選択し、接続をクリックします。



5 ネットワークキーを入力し、[接続] をクリックします。



6 接続されていることを確認します。



これで設定は完了です。

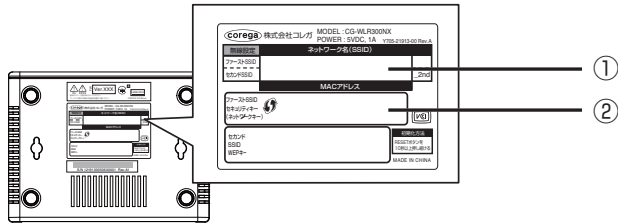
2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する

次のようなネットワーク機器を設定する方法を説明します。

- ・ 他メーカーの無線 LAN アダプタをお使いの場合
- ・ 他メーカー独自の無線接続ソフトをお使いの場合
- ・ 無線 LAN 対応プリンタをお使いの場合
- ・ 無線 LAN 対応スマートフォンをお使いの場合
- ・ 無線 LAN 対応家電などをお使いの場合

次の手順で本商品に接続します。

1 「ネットワーク名 (SSID)」①と「ファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー)」②を確認します。



2 次の表を参照のうえ、手順 1 で確認した内容をネットワーク機器に設定します。

設定項目	設定内容 (本商品の初期値)
ネットワーク名 (SSID、ESSID)	① 002687XXXXXX
共有キー (WPA 共有キー)	② XXXXXXXXXX
認証方式	WPA2-PSK
暗号方式	AES

これで接続は完了です。

2.10 ゲーム機を無線 LAN で接続する

ゲーム機が無線 LAN に対応している場合は、次の表を参考にして対応する無線セキュリティを確認します。

ゲーム機	設定できる無線 LAN セキュリティ
PLAYSTATION3※1	WEP (64bit/128bit)、WPA-PSK、WPA2-PSK
PSP	WEP (64bit/128bit)、WPA-PSK
Xbox360※2	WEP (64bit/128bit)、WPA-PSK、WPA2-PSK
Wii	WEP (64bit/128bit)、WPA-PSK、WPA2-PSK
ニンテンドー 3DS	WEP (64bit/128bit)、WPA-PSK、WPA2-PSK
ニンテンドー DSi	WEP (64bit/128bit)、WPA-PSK、WPA2-PSK
ニンテンドー DS	WEP (64bit/128bit)

※1 20GB モデルは無線 LAN に対応していません。

※2 無線 LAN 対応モデルのみ。



- ・ WEP キーまたは WPA キーを ASCII 文字で接続できないときは、16 進数で設定してください。
- ・ ゲーム機の操作方法などは、ゲーム機のマニュアルをご覧ください。



本商品の無線 LAN セキュリティ設定を変更する場合は、「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をご覧ください。

P.110 「4.3.6 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

■ WPA2-PSK で接続する

- ・ PLAYSTATION3、Xbox360、ニンテンドー 3DS、ニンテンドー DSi の場合

📖 P.59 「2.10.1 WPA2-PSK で接続する」

- ・ Wii の場合

「ニンテンドー DS・Wii を接続する」でカラーのイラスト付きで詳しく説明しています。

📖 「ニンテンドー DS・Wii を接続する」(ダウンロード)



■ マルチ AP (セカンド SSID) に接続する

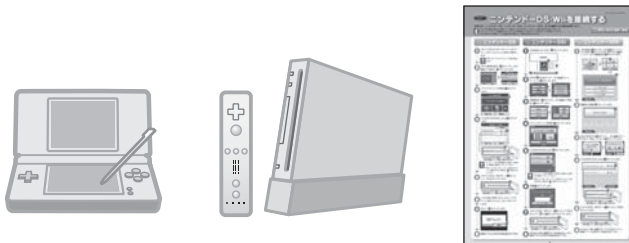
- ・ PLAYSTATION3、PSP、Xbox360、ニンテンドー 3DS、ニンテンドー DSi の場合

📖 P.60 「2.10.2 マルチ AP (セカンド SSID) に接続する」

- ・ Wii、ニンテンドー DS の場合

「ニンテンドー DS・Wii を接続する」でカラーのイラスト付きで詳しく説明しています。

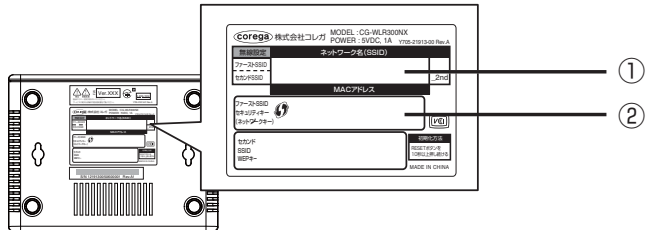
📖 「ニンテンドー DS・Wii を接続する」(ダウンロード)



2.10.1 WPA2-PSK で接続する

ゲーム機を WPA2-PSK で接続する場合は、次の手順を参考に、無線 LAN 接続に必要な情報（設定項目と内容）をゲーム機に設定します。

- 1 「ネットワーク名 (SSID)」①と「ファースト SSID セキュリティキー (ネットワークキー)」②を確認します。



- 2 手順 1 で確認した内容とあわせて、次の表の設定内容をゲーム機に設定します。

設定項目	設定内容
ネットワーク名 (SSID、ESSID)	① 002687XXXXXX
共有キー (WPA 共有キー)	② XXXXXXXX
認証方式	WPA2-PSK
暗号方式	AES

これでゲーム機の接続は完了です。

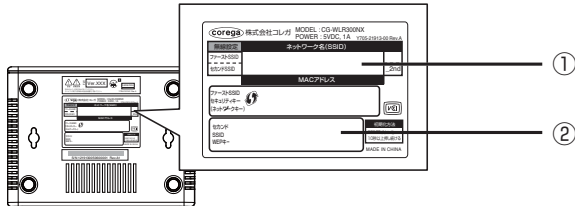
2.10.2 マルチ AP (セカンド SSID) に接続する

ゲーム機をマルチ AP のセカンド SSID に接続する場合は、次の手順を参考に無線 LAN 接続に必要な情報（設定項目と内容）をゲーム機に設定します。



マルチ AP 機能の詳しい説明は、P.74 「3.6 マルチ AP 機能を使う」をご覧ください。

1 「ネットワーク名 (SSID)」①と「セカンド SSID WEP キー」②を確認します。



2 手順 2 で確認した内容とあわせて、次の表の設定内容をゲーム機に設定します。

設定項目	設定内容 (本商品の初期値)
ネットワーク名 (SSID、ESSID)	① 002687XXXXXX_2nd
WEP キー	② XXXXXXXXXXXXXXXX
認証方式	Open System
暗号方式	WEP (128bit)

これでゲーム機の接続は完了です。

第 3 章

本商品を使いこなす

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

3.1 設定画面を表示する	62
3.2 設定する	64
3.3 ダブルチャンネルを設定する	66
3.4 LED 消灯モードを設定する	68
3.5 無線スケジュール停止機能を使う	69
3.6 マルチ AP 機能を使う	74

3.1 設定画面を表示する

本商品の設定画面を表示するには Web ブラウザが必要です。本商品に接続している 1 台のパソコンで設定します。Web ブラウザには本商品の推奨ブラウザをご利用ください。そのほかの Web ブラウザでは、正常に設定できない場合があります。使用できる OS と Web ブラウザは次のとおりです。

OS	Web ブラウザ
Windows	Internet Explorer 10.0/9.0/8.0/7.0/6.0
Mac OS X	Safari 6.0/5.0/4.0/3.0/2.0

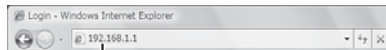


- ・本商品を設定するときは、本商品がインターネットに接続できている環境で設定してください。インターネットに接続していない環境で本商品を設定する場合は、つながるポートを「手動」にする必要があります。詳しくは、P.79 「4.2.3 設定画面が表示されない」をご覧ください。
- ・設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品を設定してください。設定作業が終了してから再度起動させてください。

1 Internet Explorer または Safari を起動します。

手順 3 の画面が表示された場合は、そのまま手順 3 へ進みます。

2 アドレスバーに「192.168.1.1」と入力し、Enter キーまたは return キーを押します。

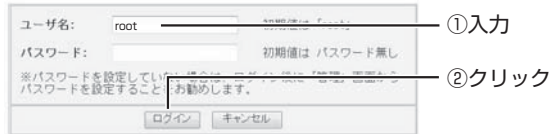


入力



ルータ機能を「無効」に設定している場合や、本商品の IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。

3 ユーザ名に「root」と入力し、パスワードは空欄のまま【ログイン】をクリックします。



つながるポートが動作している状態でインターネットに接続できていない場合（回線判別中など）は、次のような画面が表示されます。表示された画面に従って、本商品をインターネットに接続してから再度設定画面を表示してください。



※ 画面はつながるポートで回線を判別中の例です。

4 設定画面が表示されます。



設定画面の基本的な操作は、P.64 「3.2 設定する」をご覧ください。

3.2 設定する

設定画面の基本的な操作を説明します。

1 画面左側のメニューをクリックします。

各設定画面が表示されます。



※ 画面は、「管理」をクリックした場合の例です。

2 必要な項目を設定します。

直接入力したり、プルダウンメニューやラジオボタンで選択したり、チェックボックスにチェックを付けたりして、必要な項目を設定します。

3 正しく設定したことを確認し、[設定] をクリックします。

[設定] をクリックすると、すぐに設定が有効になります。設定項目によっては、本商品が再起動することがあります。



- ・ [設定] をクリックしたあとは、設定を取り消せません。
- ・ [設定] をクリックする前に設定前の状態に戻すには、[取消] または [戻る] をクリックするか、または画面左側のメニューをクリックします。

4 設定を終了するには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



クリック


3.3 ダブルチャンネルを設定する

本商品は「ダブルチャンネル」で20MHz幅のチャンネルを2つに束ねて、「ショートガードインターバル」でガードインターバルを短くすることで、IEEE802.11nの300Mbps（理論値）の通信速度に対応します。

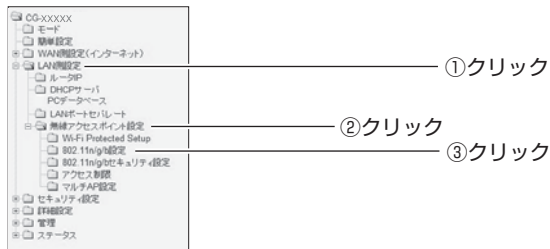
■本商品を設定する

本商品の「ダブルチャンネル」は、次の手順で設定します。

1 設定画面を表示します。

 P.62 「3.1 設定画面を表示する」

2 「LAN 側設定」－「無線アクセスポイント設定」－「802.11n/g/b 設定」の順にクリックします。



3 次のように設定します。



- ① 「ダブルチャンネル」で「自動」を選択します。
- ② 「ショートガードインターバル」で「自動」を選択します。
- ③ 「設定」をクリックします。

4 設定画面が更新されます。

5 画面右上の「ログアウト」をクリックし、本商品からログアウトします。



これで「ダブルチャンネル」の設定は完了です。



- ・ダブルチャンネルを使用することで、ダブルチャンネルに対応していない通信機器の通信速度などのパフォーマンスは低下する可能性があります。
- ・無線 LAN アダプタ (子機) は、本商品に合わせて自動的に適切な速度に設定されます。ダブルチャンネルやショートガードインターバルなどの設定をする必要がある場合は、お使いの無線 LAN アダプタのマニュアルをご覧ください。

■無線 LAN アダプタを設定する

無線 LAN アダプタは、本商品に合わせて自動的に適切な速度に設定されます。「ショートガードインターバル」などの設定をする必要はありません。



他社製の無線 LAN アダプタ、または無線 LAN 内蔵パソコンをお使いの場合は、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

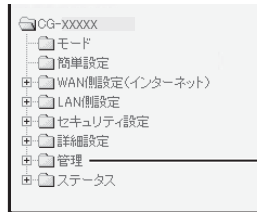
3.4 LED 消灯モードを設定する

本体のLED ランプを消灯しておくことで、夜間でもまぶしさが気になりません。次の手順で設定します。

1 設定画面を表示します。

☞ P.62 「3.1 設定画面を表示する」

2 「管理」をクリックします。



クリックします

3 「LED 消灯モード」で「消灯」を選択し、「設定」をクリックします。



選択します

クリックします

以上で、LED 消灯モードの設定は完了です。



LED消灯モードに設定すると、電源LEDを除いたすべてのLEDは消灯します。WPS 設定や再起動・初期化など、一部の機能を除き LED は動作しません。

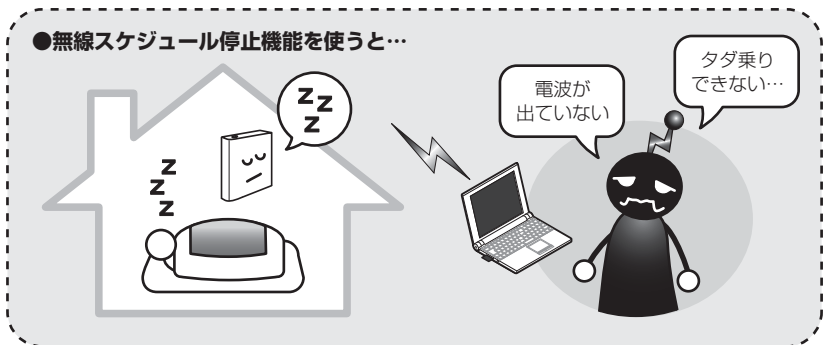
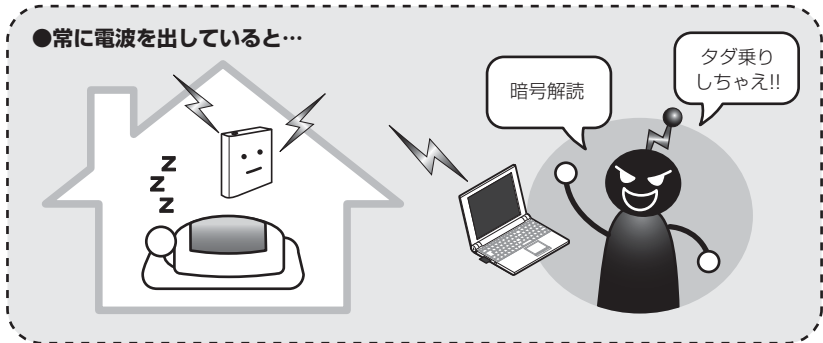
3.5 無線スケジュール停止機能を使う

無線スケジュール停止機能について説明します。

3.5.1 無線スケジュール停止機能とは？

今までの無線 LAN ルータは、無線 LAN を使用していない時間帯も常に電波を出し続けているため、寝ているときや不在のあいだに無線 LAN から家庭内のネットワークに侵入されたり、電波をただ乗りされたりする心配がありました。

通常は、WPA2 や MAC アドレスフィルタなどの無線 LAN セキュリティを設定することで安心して使用できますが、無線 LAN を使用しない時間帯は無線 LAN 機能自体を停止させることでさらに安全になります。なお、無線 LAN ルータ自体の電源は切りませんので、無線 LAN 機能を停止していても、有線 LAN で本商品に接続している機器から外部のサーバに公開するなどの動作には影響はありません。



3.5.2 スケジュールを登録する


はじめに無線 LAN を停止するスケジュールを登録します。
設定する項目は次のとおりです。

名前	12 文字以内（半角英数字および半角記号のみ） 例：schedule_1
コメント	12 文字以内（半角英数字および半角記号のみ） 例：Everyday
曜日	毎日、日曜日～土曜日
開始時間	00:00 ～ 23:58（半角数字のみ） 例：01:00 ※「終了時間」より前の時刻を設定してください。
終了時間	00:01 ～ 23:59（半角数字のみ） 例：06:00 ※「開始時間」よりあとの時刻を設定してください。

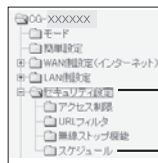


スケジュールを登録するには、表のすべての項目を設定する必要があります。

1 設定画面を表示します。

 P.62 「3.1 設定画面を表示する」


2 「セキュリティ設定」－「スケジュール」の順にクリックします。



①クリック

②クリック

3 スケジュールを登録します。

セキュリティスケジュール  **HELP**

スケジュール

名前: ①入力

コメント:

曜日	開始時間 (hh:mm)	終了時間 (hh:mm)
毎日	1 : 00	6 : 00
日曜日	: :	: :
月曜日	: :	: :
火曜日	: :	: :
水曜日	: :	: :
木曜日	: :	: :
金曜日	: :	: :
土曜日	: :	: :

②クリック

※ 画面は、毎日 AM1:00 ~ AM6:00 に設定した例です。

4 スケジュールテーブルを確認します。

スケジュールテーブル(最大10まで)

スケジュール名	コメント	操作
schedule_1	Everyday	修正 削除 確認

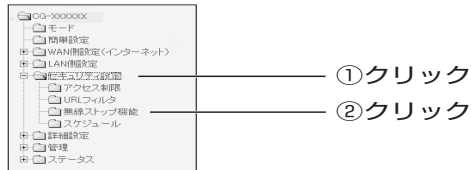
これでスケジュールが登録できました。

引き続き、P.72 「3.5.3 スケジュールを選択する」で無線 LAN を停止するスケジュールを設定します。

3.5.3 スケジュールを選択する

登録したスケジュールを選択し、無線 LAN 停止機能を設定します。

- 1 「セキュリティ設定」－「無線ストップ機能」をクリックします。



- 2 登録したスケジュール名を選択し、[登録] をクリックします。



- 3 登録したスケジュール名の、[有効] を選択します。



- 4 [有効] になったことを確認します。



これで登録したスケジュールに従って、無線 LAN 機能が停止します。

3.5.4 無線スケジュール停止機能を一時的に無効にする

次の手順で無線スケジュールを一時的に無効にすると、無線 LAN 機能を使用できます。

1 「無効」を選択します。



2 「無効」になったことを確認します。



これで無線スケジュール停止機能が一時的に無効になり、無線 LAN 機能が使用できます。

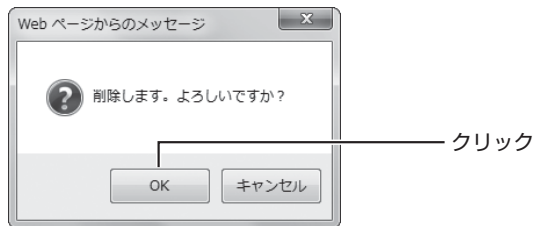
3.5.5 無線スケジュール停止機能を削除する

次の手順で無線スケジュール停止機能の設定を削除します。

1 「削除」をクリックします。



2 「OK」をクリックします。



これで無線スケジュール停止機能の設定が削除されました。

3.6 マルチ AP 機能を使う

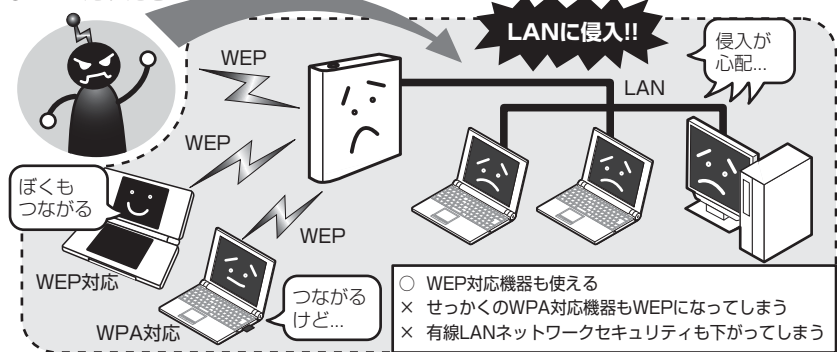
本商品に搭載しているマルチ AP 機能について説明します。

3.6.1 WEP のぜい弱性とマルチ AP 機能

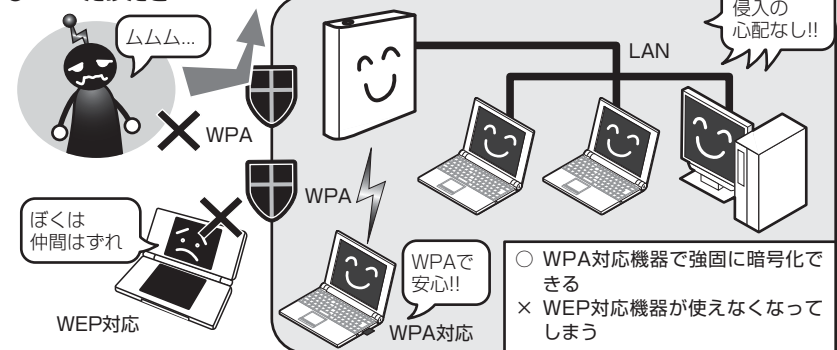
「WEP (Wired Equivalent Privacy)」は、IEEE802.11b の頃から広く使われている暗号方式ですが、近年さまざまなぜい弱性が発見され、十分なセキュリティを維持できなくなっています。

現在 WEP より強固な「WPA (Wi-Fi Protected Access)」や「WPA2」が採用されていますが、WEP にしか対応しない機器がまだまだたくさん存在します。そのため、せっかく WPA に対応した機器を持っていても、WEP 対応機器を混在させるには無線 LAN セキュリティを下げる必要があり、不安を抱えていました。

●WEP だけだと...



●WPA だけだと...



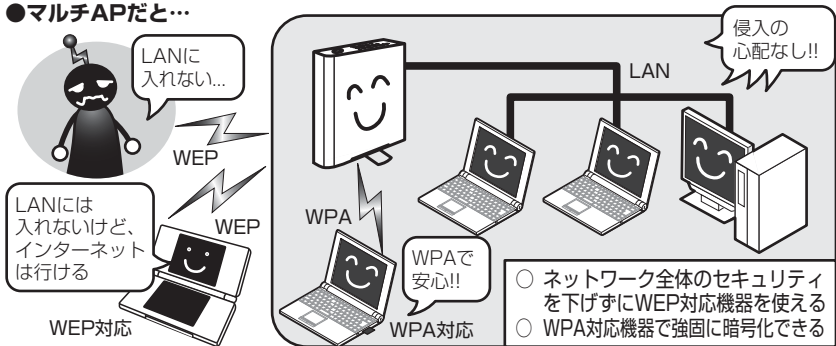
「WEP 対応機器をインターネットに接続したいけど、ネットワーク全体のセキュリティは下げたくない」というご希望にお応えするため、コレガの無線 LAN ルータでは「マルチ AP 機能」という SSID を 1 つ増やす機能を搭載しています。

3.6.2 マルチ AP 機能の利点

マルチ AP 機能では、通常の SSID（ファースト SSID）に加えて、WEP 専用のセカンド SSID を使用できます。

ファースト SSID では WPA2 の高度な暗号化を設定しつつ、セカンド SSID では WEP を設定できます。セカンド SSID はインターネット接続以外の通信を遮断しているため、LAN に侵入される心配はありません。LAN 全体のセキュリティを確保しながら、WEP 対応機器をインターネットに接続できます。

●マルチAPだと…



マルチ AP 機能は、WEP のみ対応するニンテンドーDSのような携帯ゲームなどでインターネットに接続する場合に最適です。



- ・本商品のルータ機能がオフの場合でも、マルチ AP 機能は使用できます。ただし、本商品のつながるポート（WAN）にルータ（またはルータ機能付きモデム）を接続する必要があります。
- ・本商品の工場出荷時の状態は P.25 「■ 製品ラベル」に記載しています。マルチ AP 機能の設定を変更する場合は、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。
 📖 P.110 「4.3.6 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」
- ・セカンド SSID の無線通信規格は、IEEE802.11g/b です。

3.6.3 マルチ AP 機能について

マルチAP機能のファーストSSID／セカンドSSIDには次のような違いがあります。

使用できる SSID	インター ネット 接続	設定画面 表示	LAN 接続	対応する無線 LAN セキュリティ
ファースト SSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK、WPS、 WEP (64/128bit)
セカンド SSID	○	×	×	WEP (64/128bit)

マルチ AP (セカンド SSID) に接続する場合は、お使いのゲーム機に合わせて、次の項目をご覧ください。

マルチ AP (セカンド SSID) に、ニンテンドー DS・Wii を接続する場合

 「ニンテンドー DS・Wii を接続する」 (ダウンロード)

マルチ AP (セカンド SSID) に、ニンテンドー DS・Wii 以外のゲーム機を接続する場合

 **P.60** 「2.10.2 マルチ AP (セカンド SSID) に接続する」

第4章

トラブル解決と Q&A

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

4.1	トラブル対処の方法	78
4.2	本商品のトラブル	79
4.3	よくあるご質問	106

4.1 トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	「らくらく導入ガイド」、「お使いの手引き」（本書）で設定を再確認する 管理者などに問い合わせる
-------	--

それでも解決できないときは…



STEP2	本章の「トラブル解決とQ&A」を確認する 🔍 P.79 「4.2 本商品のトラブル」 🔍 P.106 「4.3 よくあるご質問」
-------	--

それでも解決できないときは…



STEP3	コレガホームページ (http://corega.jp/) の情報を活用する 本商品の「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）、最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームウェア・ソフトウェアなどを提供しています。
-------	--

それでも解決できないときは…



STEP4	コレガサポートセンタに問い合わせる 連絡先は本書の裏表紙をご覧ください。
-------	---

4.2 本商品のトラブル

本商品について、よくあるトラブルとその対処方法を説明します。

4.2.1 電源が入らない

電源が入らないときは、AC アダプタのケーブルが断線していないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧ください。修理を依頼してください。

🔧P.115 「付録 保証と修理について」

4.2.2 LED が点灯・点滅しない

電源 LED 以外がすべて消灯しているときは、「LED 消灯モード」になっています。詳しくは、次の項目をご覧ください。

🔧P.68 「3.4 LED 消灯モードを設定する」

4.2.3 設定画面が表示されない

本商品の設定画面が表示されないときは、次の項目を確認してください。

🔧P.80 「■セカンド SSID 以外で本商品に接続する」

🔧P.80 「■セキュリティソフトを停止する」

🔧P.80 「■OS のファイアウォール機能を無効にする」

🔧P.87 「■ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する」

🔧P.89 「■Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する」

🔧P.90 「■プロキシサーバを使用していないことを確認する」

🔧P.95 「■パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する」

🔧P.104 「■つながるポートの設定を確認する」

■セカンド SSID 以外で本商品に接続する

セカンド SSID（工場出荷時の設定は「002687XXXXXX_2nd」に設定されています）で設定された無線ネットワークでは本商品の設定画面を表示できません。セカンド SSID に接続している場合は、ファースト SSID（工場出荷時の設定は本体側面の「ネットワーク名（SSID）」に記載されています）に接続し直すか、または LAN ケーブルで本商品に接続してください。

ファースト SSID とセカンド SSID の工場出荷時の設定は製品ラベルに記載されています。詳しくは P.25 「■製品ラベル」をご覧ください。

■セキュリティソフトを停止する

セキュリティソフトが動作していると、本商品を設定できないことがあります。本商品を設定するときは、一時的にセキュリティソフトの動作を停止させてください。本商品の設定が完了したら、セキュリティソフトの動作を再開してください。

セキュリティソフトの停止方法、再開方法については、お使いのセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。パソコンのご購入時にセキュリティソフトがインストールされていた場合は、パソコンメーカーへお問い合わせください。

■OS のファイアウォール機能を無効にする

ファイアウォール機能の設定方法は、お使いの OS により異なります。

🔗 P.81 「○Windows 8 の場合」

🔗 P.82 「○Windows 7 の場合」

🔗 P.84 「○Windows Vista の場合」

🔗 P.85 「○Windows XP（SP2 以降）の場合」

○ Windows 8 の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。



本商品の設定が完了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

1 スタート画面でデスクトップをクリックします。



クリックします

2 「画面の左下にマウスカーソルを移動し、「スタート」のポップアップが表示されたら右クリックし、エクスプローラをクリックします

3 コンピュータータブ①ー「コントロールパネル」②の順にクリックします。



①クリック

②クリック

引き続き、P.82 「○ Windows 7 の場合」の手順 2 に進んでください。

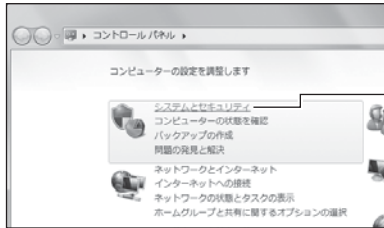
○ Windows 7 の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

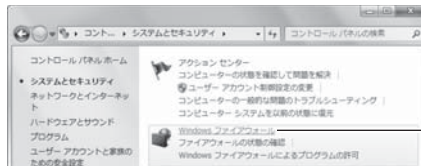


本商品の設定が完了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

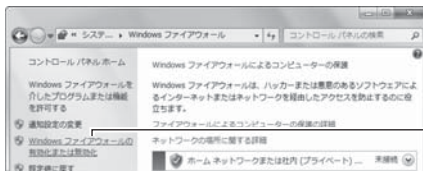
- 1 [スタート] – 「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「システムとセキュリティ」 をクリックします。



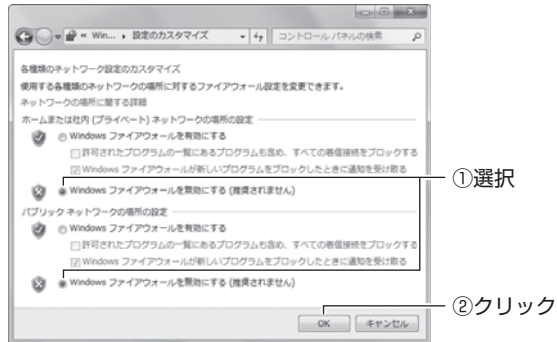
- 3 「Windows ファイアウォール」 をクリックします。



- 4 「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」 をクリックします。



5 「Windows ファイアウォールを無効にする(推奨されません)」を選択し、[OK] をクリックします。



これでファイアウォールが無効になりました。

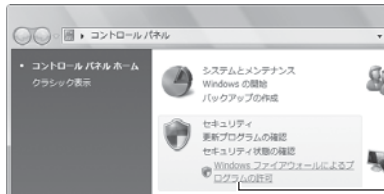
○ Windows Vista の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。



本商品の設定が完了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

- 1 [スタート] – 「コントロールパネル」 – 「Windows ファイアウォール」の順にクリックします。
- 2 「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。

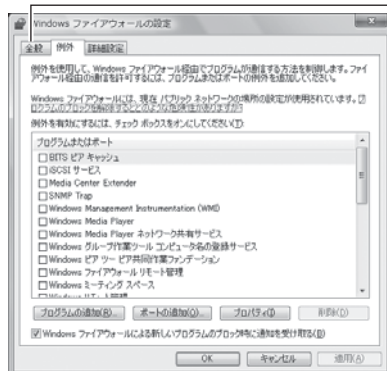


クリック



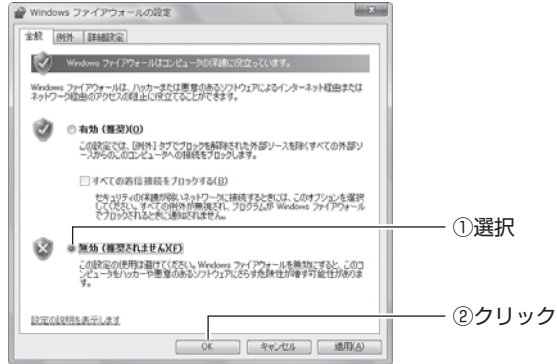
クラシック表示の場合は、「コントロールパネルホーム」をクリックすると手順 2 の画面が表示されます。

- 3 「ユーザーアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。
- 4 全般タブをクリックします。



クリック

5 「無効 (推奨されません)」を選択し、[OK] をクリックします。



これでファイアウォールが無効になりました。

○ Windows XP (SP2 以降) の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

注意 本商品の設定が完了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

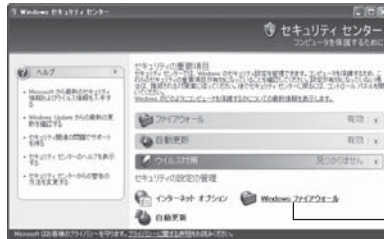
1 [スタート] - 「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「セキュリティセンター」をクリックします。



メモ クラシック表示の場合は、「セキュリティセンター」をダブルクリックすると手順 3 の画面が表示されます。

3 「Windows ファイアウォール」をクリックします。



クリック

4 「無効 (推奨されません)」を選択し、[OK] をクリックします。



① 選択

② クリック

これでファイアウォールが無効になりました。

■ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する

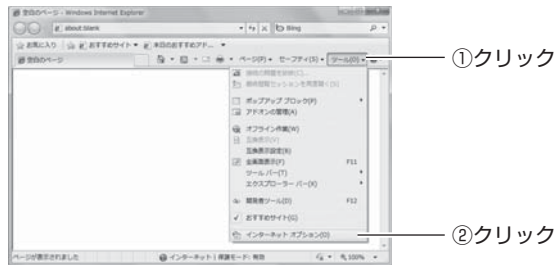
次の手順で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認してください。



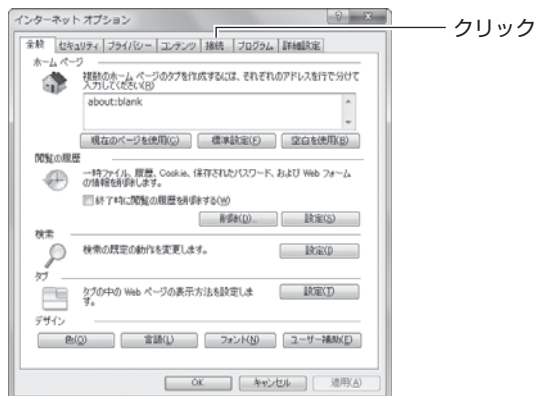
- ・プロバイダが提供している接続ツールなどがインストールされていると、正しく設定できないことがあります。その場合は、接続ツールをアンインストールしてください。
- ・画面は Internet Explorer 8 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。

1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。



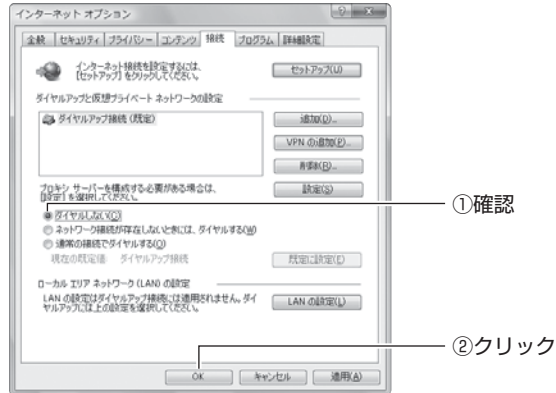
3 接続タブをクリックします。



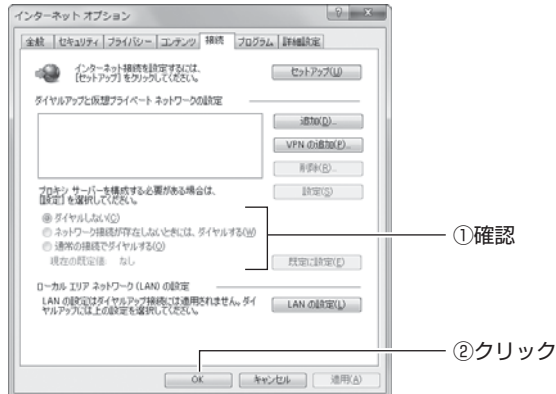
4 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」を確認します。

「ダイヤルしない」が選択されているか、またはグレーアウトされて選択できないことを確認し、[OK] をクリックします。

○「ダイヤルしない」が選択されている場合



○グレーアウトされている場合



これでダイヤルアップ接続を使用していないことを確認できました。

■ Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する

次の手順で、Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認してください。

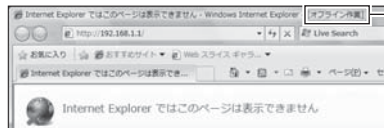


画面は Internet Explorer 8 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。

1 Internet Explorer を起動します。

2 タイトルバーを確認します。

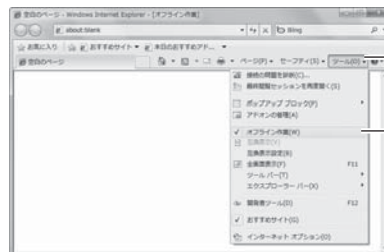
オフラインになっていると、タイトルバーに [オフライン作業] と表示されます。



オフラインになっているときに表示されます

3 「ツール」－「オフライン作業」の順にクリックし、チェックを外します。

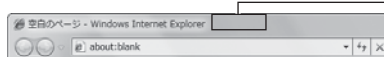
Internet Explorer 6 の場合は、「ファイル」－「オフライン作業」の順にクリックし、チェックを外します。



①クリック

②クリック

4 タイトルバーに [オフライン作業] が表示されていないことを確認します。



[オフライン作業] が表示されません

これで Internet Explorer がオフラインになっていないことが確認できました。

■プロキシサーバを使用していないことを確認する

プロキシサーバの設定方法は、お使いの OS によって異なります。

👉 P.90 「○ Windows の場合」

👉 P.92 「○ Macintosh の場合」

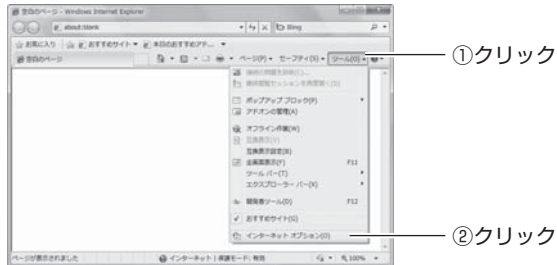
○ Windows の場合

次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。



画面は Internet Explorer 8 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。

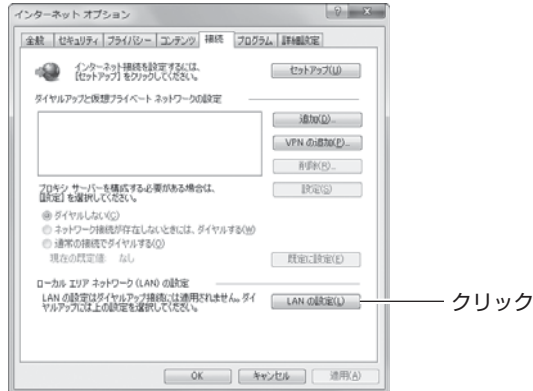
- 1 Internet Explorer を起動します。
- 2 「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。



- 3 接続タブをクリックします。

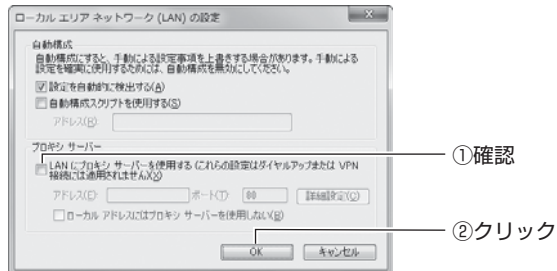


4 [LAN の設定] をクリックします。



5 「プロキシサーバー」を確認します。

「LAN にプロキシサーバーを使用する」にチェックが付いていないことを確認し、[OK] をクリックします。



6 手順 4 の画面が表示されます。[OK] をクリックします。

これでプロキシサーバを使用していないことが確認できました。

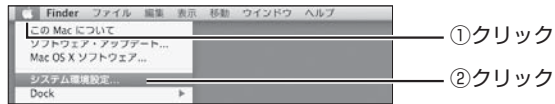
○ Macintosh の場合

次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。



画面は Mac OS X 10.6 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。

1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。



2 「ネットワーク」をクリックします。



3 「Ethernet」を選択し、「詳細」をクリックします。

Mac OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、「設定」をクリックします。



4 「プロキシ」をクリックします。



5 プロキシサーバにチェックが付いていないことを確認します。

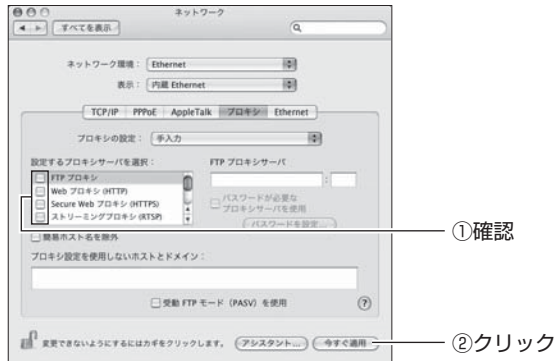
・Mac OS X 10.7/10.6/10.5 の場合

「構成するプロトコルを選択」の項目でチェックが付いていないことを確認して、[OK] をクリックします。
 チェックが付いている場合はチェックを外し、[OK] をクリックします。



・ Mac OS X 10.4 の場合

「設定するプロキシサーバを選択」の項目でチェックが付いていないことを確認して、[今すぐ適用] をクリックします。
チェックが付いている場合はチェックを外し、[今すぐ適用] をクリックします。



これでプロキシサーバを使用していないことが確認できました。

■パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認する

IPアドレスの設定方法は、お使いのOSにより異なります。

- 👉 P.95 「○ Windows 8 の場合」
- 👉 P.96 「○ Windows 7/Vista の場合」
- 👉 P.100 「○ Windows XP の場合」
- 👉 P.102 「○ Macintosh の場合」


○ Windows 8 の場合

次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

- 1** スタート画面を表示している場合は、「デスクトップ」をクリックし、デスクトップモードを表示します。



クリックします

- 2** 画面右下の通知領域の  アイコンを右クリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。

ここまでの手順は Windows8 のみになります。このあとの手順は、Windows 7 の場合の手順と同じです。引き続き、P.96 「○ Windows 7/Vista の場合」の手順4に進んでください。

○ Windows 7/Vista の場合

次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

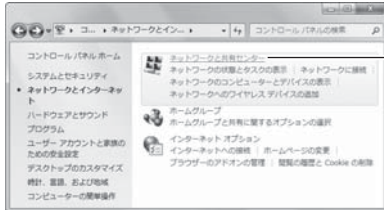


画面は Windows 7 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



- 3 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



- 4 「ローカルエリア接続」をクリックします。

Windows Vista の場合は、「状態の表示」をクリックします。

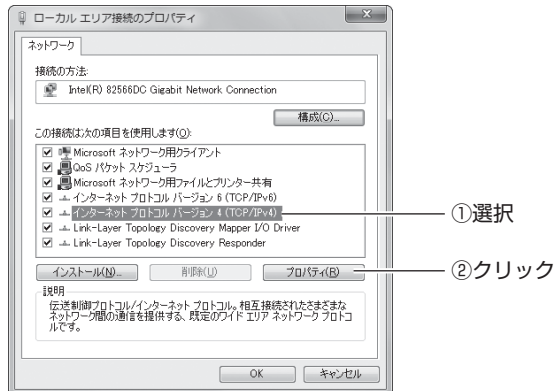


5 [プロパティ] をクリックします。



6 [Windows Vista のみ] ユーザーアカウント制御画面で、[続行] をクリックします。

7 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

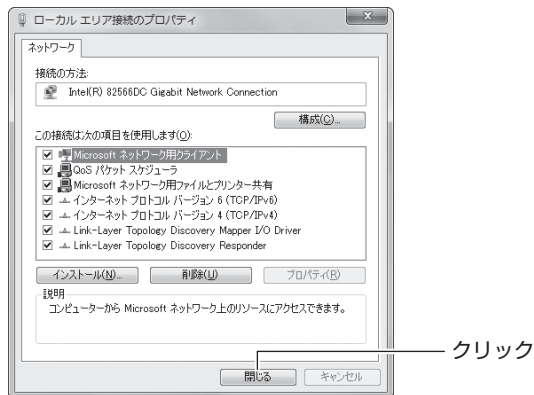


8 設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。



9 [閉じる] をクリックします。



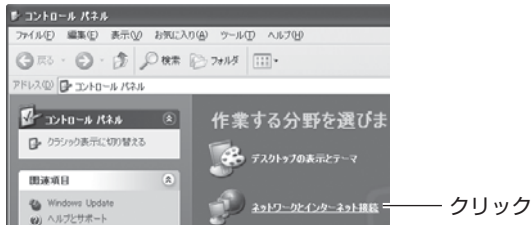
10 [閉じる] をクリックします。


これでパソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

○ Windows XP の場合

次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

- 1** [スタート] - 「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2** 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



 クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックすると手順4の画面が表示されます。

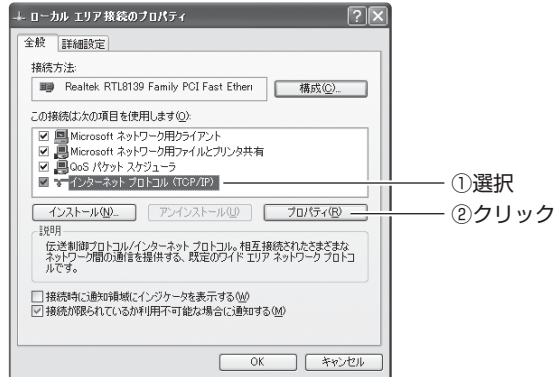
- 3** 「ネットワーク接続」をクリックします。



- 4** 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



6 設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。



7 手順 5 の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

これでパソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

○ Macintosh の場合

次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。



2 「ネットワーク」をクリックします。



3 DHCP サーバの使用を確認します。

・Mac OS X 10.8/10.7/10.6/10.5 の場合

「Ethernet」を選択し、「DHCP サーバを使用」が選択されていることを確認します。

「DHCP サーバを使用」が選択されていない場合は、「DHCP サーバを使用」を選択し、「適用」をクリックします。



・Mac OS X 10.4 の場合

① 「内蔵 Ethernet」を選択し、[設定] をクリックします。



② 「IPv4 の設定」で、「DHCP サーバを参照」が選択されていることを確認します。

「DHCP サーバを参照」が選択されていない場合は、「DHCP サーバを参照」を選択し、[今すぐ適用] をクリックします。



これでパソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

■つながるポートの設定を確認する

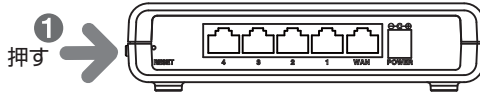
インターネットに接続していない環境で本商品の設定画面を表示すると、つながるポートがインターネットの接続に必要な設定画面を表示し、本商品の設定画面を表示できません。

インターネットに接続していない環境で本商品の設定画面を表示するには、つながるポートを「AUTO(自動)」から「MANUAL(手動)」に変更する必要があります。



つながるポートが「MANUAL(手動)」の状態では本商品の設定を変更する場合は、つながるポートを「AUTO(自動)」に戻さないでください。つながるポートを「MANUAL(手動)」から「AUTO(自動)」に戻すときに本商品の設定は初期化されます。

- 1 本商品側面の① WPS ボタンを 10 秒間押し続けます。



※画像はイメージです

- 2 WPS/ ステータス LED が 3 回点滅→消灯→3 回点滅・・・を繰り返したら WPS ボタンを離します。
- 3 電源コンセントから AC アダプタを抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。

以上で、つながるポートの設定の確認は完了です。

引き続き P.62 「3.1 設定画面を表示する」で設定画面を表示してください。

4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない

■ Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールする (Windows XP のみ)

無線 LAN 内蔵パソコンで、Windows XP に標準搭載されているワイヤレスネットワークから接続するときに、「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示された場合は、Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。

検索サイトで「KB893357」で検索して、Microsoft 社のホームページでダウンロードします。詳しくは、OS のサポート元 (パソコンメーカーなど) にお問い合わせください。

■ 内蔵無線 LAN が WPA2 に対応していることを確認する

本商品の無線 LAN セキュリティが初期状態 (WPA2-PSK) で、更新プログラムなどをインストールしても接続できない場合は、内蔵無線 LAN が「WPA2」のセキュリティに対応していることを確認してください。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

■ 内蔵無線 LAN の接続手順を確認する

本書に記載している内蔵無線 LAN の接続手順は、Windows および Macintosh 標準の接続方法です。お使いのパソコンによっては、Windows XP のワイヤレスネットワークタブが表示されないなど、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.56 「2.9 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」、およびお使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

■ 内蔵無線 LAN の最新のドライバが適用されていることを確認する

内蔵無線 LAN に最新のドライバが適用されていることを確認してください。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

4.3 よくあるご質問

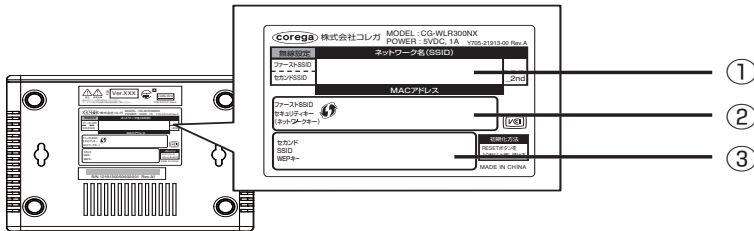
ここでは、よく寄せられる質問について記載しています。

4.3.1 無線 LAN セキュリティを設定したい

本商品の無線 LAN セキュリティの設定は、設定画面で変更できます。詳しくは、「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をご覧ください。

 P.110 「4.3.6 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

本商品のファースト SSID とセカンド SSID には、次のそれぞれ異なる無線 LAN セキュリティ (初期値) が設定されています。



■ファースト SSID

本商品のファースト SSID の工場出荷時の無線 LAN セキュリティは次のとおりです。

設定項目	設定内容 (本商品の初期値)
ネットワーク名 (SSID、ESSID)	① 002687XXXXXX
共有キー (WPA 共有キー)	② XXXXXXXXX
認証方式	WPA2-PSK (パーソナル)
暗号方式	AES

■セカンド SSID

マルチ AP 機能が有効 (工場出荷時設定) の場合にセカンド SSID を使用できます。セカンド SSID の工場出荷時の無線 LAN セキュリティは次のとおりです。

設定項目	設定内容 (本商品の初期値)
ネットワーク名 (SSID、ESSID)	① 002687XXXXXX_2nd
WEP キー	③ XXXXXXXXXXXXXXX
認証方式	Open System
暗号方式	WEP

4.3.2 無線 LAN 内蔵パソコンを接続したい

本商品と無線 LAN で接続するには、パソコンに内蔵されている無線 LAN 機能が IEEE802.11 n/g/b に対応している必要があります。詳しくは、次の項目をご覧ください。

- 👉P.30 「2.3 Windows 8 で無線 LAN 接続する」
- 👉P.35 「2.4 Windows 7 で無線 LAN 接続する」
- 👉P.41 「2.5 Windows Vista で無線 LAN 接続する」
- 👉P.45 「2.6 Windows XP で無線 LAN 接続する」
- 👉P.51 「2.7 Macintosh を内蔵無線 LAN (AirMac) で接続する」

4.3.3 複数台のパソコンを接続したい

本商品には複数台のパソコンやネットワーク機器を接続できます。詳しくは、次の項目をご覧ください。

- 👉P.26 「第2章 複数のネットワーク機器を接続する」

4.3.4 本商品を再起動したい

本商品を再起動するには、次の2つの方法があります。

- 👉P.107 「■電源を入れ直して再起動する」
- 👉P.108 「■設定画面で再起動する」

■電源を入れ直して再起動する

- 1 電源コンセントから AC アダプタを抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。
- 2 LED を確認します。

電源 LED が点灯し、WPS/ ステータス LED が点滅→消灯に変わります。



本商品が再起動するまでに3分ほどかかります。再起動が完了するまでしばらくお待ちください。

これで本商品が再起動しました。

■設定画面で再起動する

1 設定画面を表示します。

☞ P.62 「3.1 設定画面を表示する」

2 「管理」をクリックします。

3 「再起動」で [実行] をクリックします。



4 [OK] をクリックします。



5 次の画面が表示されます。再起動が完了するとログイン画面が表示されます。

システムを再起動しています。
あと 57 秒お待ちください。



画面に表示される秒数は、お使いの環境によって異なります。再起動が完了するまでしばらくお待ちください。

これで本商品が再起動しました。

4.3.5 本商品を工場出荷時の状態に戻したい

本商品を工場出荷時の状態に戻す手順は、次のとおりです。

- 1** すべての LAN ケーブルを抜きます。
- 2** 電源コンセントから AC アダプタを抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。
- 3** 電源LEDが点灯し、WPS/ステータスLEDが点灯→消灯に変わると、本商品は正常に動作しています。
- 4** 本商品の電源が入っている状態で、本体背面の RESET ボタンを 15 秒以上押し続けます。

RESET ボタンを押し始めてから 5 秒ほどで WPS/ステータス LED がゆっくり点滅して、さらに 5 秒ほどで速く点滅します。速く点滅していることを確認してから、初期化ボタンを離します。



RESET ボタンは、クリップなどの硬くて先の細いものを使用して押してください。

- 5** 電源LEDが点灯し、WPS/ステータスLEDが点滅→消灯に変わり、本商品が正常に起動したことを確認します。



本商品が起動するまでに 1 分ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

これで本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

4.3.6 もっと詳しい取扱説明書を入手したい

本商品の詳しい使い方を記載した「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル)は、次の手順でダウンロードしてご覧ください。



- ・「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をご覧いただくには、お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、Adobeのサイトからダウンロードしてインストールしてください。Adobe Readerは無料でダウンロードできます。
- ・「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をダウンロードするには、インターネットに接続する必要がありますので、インターネットへの接続に問題がないことをご確認ください。
- ・お使いの環境によっては、Web ブラウザの中に PDF ファイルが表示される場合があります。その場合は、[保存] (フロッピーディスクの形をしたボタン) をクリックすると、「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をパソコンに保存できます。
- ・予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

- 1 Web ブラウザを起動します。**
- 2 アドレス欄に「http://corega.jp/」(「」は不要です) と入力して Enter キーまたは return キーを押します。**
- 3 「商品情報」で「無線 LAN」をクリックします。**
- 4 お使いの商品名をクリックし、「ダウンロード」をクリックします。**
- 5 ダウンロードします。**

「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) を右クリックし、「対象をファイルに保存」をクリックします。

これでダウンロードは完了です。

保存した「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル) をダブルクリックしてご覧ください。

4.3.7 つながるポートで回線判別中のLEDの挙動を知りたい

つながるポートでインターネット回線を自動判別すると、WPS/インターネットLEDの動作で回線自動判別の結果が分かります。

LEDの動作とつながるポートの回線の判別結果の関係は次の表のとおりです。

・WPS/ステータスLEDとインターネットLEDの動作と回線判別結果

WPS/ステータスLED	インターネットLED	回線判別の結果
消灯	点灯	接続が完了しました
点滅	消灯	判定中です。
交互に点滅		ユーザー名とパスワードの入力が必要な回線です
消灯	点滅	接続に失敗しました
消灯	消灯	ルータ機能が無効の状態です

※上記はLED消灯モードが「点灯」時の挙動です。

付録

仕様一覧	113
保証と修理について	115
おことわり	116

仕様一覧

サポート規格	無線 LAN	(国際規格) IEEE802.11 n/IEEE802.11 g/IEEE802.11 b/ IEEE802.11 (国内規格) ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3u (100BASE-TX) /IEEE802.3 (10BASE-T)
	LAN	IEEE802.3u (100BASE-TX) /IEEE802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3x (Flow Control)
取得承認		VCCI クラス B、技術基準適合証明
対応 PC		DOS/V、Macintosh
対応 OS	本商品	Windows 8/7 (64bit/32bit) /Vista (32bit) /XP (32bit)、 Mac OS X (10.8/10.7/10.6/10.5/10.4)
推奨ブラウザ		Internet Explorer 10/9/8.0/7.0/6.0、Safari 6.0/5.0/4.0/ 3.0/2.0
無線 LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11 n/g/b] 2.412GHz ~ 2.472GHz (中心周波数表示)
	チャンネル数	[IEEE802.11 n/g/b] 13ch (1 ~ 13ch)
	伝送速度	[IEEE802.11 n] 300Mbps (ショートガードインターバル / ダブルチャンネル時 (最大))
		[IEEE802.11 g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
		[IEEE802.11 b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重変調方式)、DS-SS (直接拡散型スペクトラム拡散方式)
	通信モード	Infrastructure (アクセスポイントモード)
アンテナ形式	内部アンテナ	

無線 LAN 仕様	セキュリティ	SSID (IEEE802.11 : ID (文字列) による識別) WEP (64/128bit)、WPA-PSK (パーソナル) WPA2-PSK (パーソナル) TKIP/AES (WPA/WPA2 の設定内を含む) ステルス AP (SSID 名隠蔽、ANY 拒否) MAC アドレスフィルタリング ワイヤレスパーティション (無線端末 <=> 有線端末、無線端末 <=> 無線端末間通信の有効 / 無効)
WAN 仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1 ポート (MDI/MDI-X 自動認識)
LAN 仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4 ポート (全ポート MDI/MDI-X 自動認識)
電源仕様 (AC アダプタ)	定格入力電圧	AC100V (50/60Hz)
	定格入力電流	190mA
最大消費電力		4.4W
環境条件	動作時	温度 0 ~ 40℃ / 湿度 5 ~ 90% (結露なきこと)
	保管時	温度 - 20 ~ 60℃ / 湿度 5 ~ 95% (結露なきこと)
外形寸法		146 (W) × 108 (D) × 32 (H) mm 本体のみ (突起部を含まず)
質量		200g 本体のみ

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するというものではありません。正しい使用方法で使用了場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧ください、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- ・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- ・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- ・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

<http://corega.jp/repair/>

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書 (GNU General Public License)」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

■輸出管理と国外使用について

- ・ お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。
- ・ 弊社販売製品は、日本国内仕様であり日本国外においては、製品保証および品質保証の対象外になり製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

Copyright©2014 アライドテレシスホールディングス株式会社

corega は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ニンテンドー 3DS・ニンテンドー DS・Wii は任天堂の登録商標です。

AirMac、Macintosh、Mac OS、Safari は、Apple Inc. の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

2014年4月 Rev.A

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

<http://corega.jp/>

■商品に関するご質問は・・・

商品についてご不明な点がある場合はコレガホームページの「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。また、「故障かな?」と思った場合には「故障確認フロー」もありますのでご利用ください。

○よくあるお問い合わせ

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

<http://corega.okbiz.okwave.jp/>

○保証サポート窓口（故障確認フロー）

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

<http://corega.jp/support/inquiry/>

「修理・故障について」の項目内に「故障確認フロー」があります。

解決されない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

<http://corega.okbiz.okwave.jp/>

電話 045-476-6268

〈受付時間〉

10:00～12:00、13:00～18:00

祝・祭日を除く月～金曜日、ただし事前にコレガホームページで案内する指定休業日は除きます。

※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※ サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

記載の内容は予告無く変更する場合があります。

最新情報はコレガホームページ（<http://corega.jp/>）をご覧ください。